

2022 年度

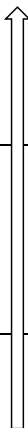
芸術 科 シラバス
(音楽)

山形県立長井高等学校

科目	音楽 I	単位数	2	週時間数	2	年次・コース・組	1 年次、共通
使用教科書 副教材等	教科書「Tutti+」(教育出版) 副教材「The Basics of Music」(教育芸術)						

目 標	①諸活動に積極的に取り組み、それらに関わる様々なことを理解するとともに、表現に必要な基本的な能力を身につけましょう。 ②諸活動を通して、よさや美しさを味わいえるようになりましょう。 ③感性を高め生涯に渡り音楽を愛好する心情と豊かな情操を育て、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養いましょう。 ④年間を通して感染症の予防に努めながら、諸活動に積極的に取り組みましょう。
-----	---

身につけてもらいたい力

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準 	ステップ 3 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組む、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
	ステップ 2 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解するとともに、音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	イメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組む、音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活を明るくしていく態度を養う。
	ステップ 1 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽について理解するとともに、音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	音楽表現することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的に音楽活動に取り組む、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽文化に親しみ、音楽によって生活を明るくしていく態度を養う。
評価方法	授業時の取組み ペーパー試験 発表（実技試験） レポート 学習プリント・ノート	授業時の取組み ペーパー試験 発表（実技試験） レポート 学習プリント・ノート	授業時の取組み ペーパー試験 発表（実技試験） レポート 学習プリント・ノート

※この評価規準(目標)により評価しますが、各単元の目標や難易度によって達成度が変わってきます。

それらを考慮しながら A, B, C の評価をし、またそれを基に5段階の評価がつきます。

授業の形態、方法

一斉授業、グループ学習を中心とします。

担当者より

通常授業では、予習・復習の必要はありません。授業では、失敗やミスを恐れず何事にも積極的に一生懸命に取り組ましましょう。分からないこと・できないことは、恥ずかしことではありません。そのままにせず、できる人やわかる人に質問してみましょう。学習内容の理解や練習が足りないと思った時や欠席してしまった時は、そのままにせず自分で補うようにしましょう。新型コロナウイルス感染症対策のため授業の進め方や計画を変更する場合があります。

学習計画

月	単 元 名	予定時数	学 習 の 内 容 と ね ら い		実施時数
4	オリエンテーション 歌唱の基礎基本 楽典	前期中間Ⅰまで 10	年間の学習について 歌唱導入 (校歌、応援歌の練習も含む) 楽典の学習	・校歌と応援歌を積極的にかつ丁寧に歌えるように積極的に表現活動に取り組ましよう。3年間、そして卒業してからも歌い続けられるように暗譜しましよう。 ・歌唱時の姿勢や呼吸などについて理解し表現活動に活かすとともに、他者との調和を意識しながら積極的に歌いましよう。 ・楽典の音楽的基礎知識等についてこれまでの学びの確認をし、それらの知識や技術を表現活動に結びつけ、体験を通して理解を深めましよう。	前期中間Ⅰまで
5	器楽		楽箏演奏の基礎基本	・西洋音楽の違いを理解しながら活動を通し、日本音楽について理解を深め、表現活動に積極的に取り組みましよう。	
	筆記試験		既習事項の確認と復習 <中間試験Ⅰにて>	・既習事項を復習し、基本的知識をしっかりと身に付けましよう。	
6	器楽 様々なアンサンブルⅠ 実技テスト	前期中間Ⅱまで 8/18	楽箏合奏 レポート ヴォイスアンサンブルやリズムアンサンブルなど楽器を使用しないアンサンブル活動	・新たな奏法や効果についても理解し、意図をもって積極的に表現活動に活かしましよう。また、他者との調和を意識してアンサンブル活動で表現しましよう。 ・楽器を使用しないアンサンブル活動に積極的に取り組み、楽譜に出てくる記号を復習し理解を深めましよう。また、他者との調和を意識してアンサンブル活動で表現しましよう。	前期中間Ⅱまで ／
7・8	歌唱の基礎基本	前期期末まで 11/29	合唱コンクールまでの混成合唱やア・カベラの歌唱	・合唱コンクールへ向けた表現活動を通して、曲想やハーモニーを感じ、他者との調和を意識して楽しみながら積極的に表現しましよう。	前期期末まで ／
9	様々なアンサンブルⅡ		ヴォイスアンサンブルやリズムアンサンブルなど楽器を使用しないアンサンブル活動 実技テスト	・楽器を使用しないアンサンブル活動に積極的に取り組み、楽譜に出てくる記号を復習し理解を深めましよう。また、他者との調和を意識して創意工夫しながら表現しましよう。	
10	創作 歌唱		既習事項を踏まえた作曲 外国の音楽 実技テスト	・創作活動に積極的に取り組み、基本的な既習事項を確認しながら理解を深化させるとともに、他者との調和を意識しながらアンサンブル活動を楽しみましよう。 ・表現活動と鑑賞活動に積極的に取り組み、外国の様々な音楽について理解し、視野を広げましよう。	
11	器楽	後期中間まで 13/42	リコーダー・ギターの合奏	・器楽の表現活動に積極的に取り組み、基本的な奏法と既習事項を結び付け学習を深化させるとともに、器楽アンサンブルの楽しさを味わいましよう。	後期中間まで ／
12	様々なアンサンブルⅢ	年度末まで 19/61	実技テスト 創造的アンサンブル活動	・楽曲や編成等、様々な創意工夫を図りましよう。また、グループ毎に積極的にアンサンブル活動に計画的、かつ積極的に取り組みましよう。	年度末まで ／
1					
2・3	実技テスト		クラス発表会	・発表会を通し、表現形態の多様性を認識するとともに、鑑賞する観点を認識し音楽の良さを感じ取りましよう。	
合計時数		61			